



祝！成人おめでとう

1月7日・8日の2日間、令和4年度千曲市成人式が信州の幸あ^{めぐみ}ずホールにおいて開催され、対象者636名中430名の新成人の皆さんが出席しました。上段は7日開催、下段は8日開催の成人式実行委員の皆さんです。

コロナ禍での式典は市長・来賓の方々^に祝辞をいただき、小学校区ごとに写真撮影を行いました。

特集 成人式

《主な掲載記事》

- 特集 成人式 …………… 2～5
- 第27回更埴地区短詩型文学祭
- 入賞作品 他 …………… 6～7
- もっと知りたいふるさと …………… 8
(鑄物師屋地区)

二十歳の成人式

1月7日

千曲市では令和4年度の成人式をこれまでどおり20歳になる年齢を対象とし開催しました。式は感染対策として2日に分け、マスクを着用のうえ、厳重な雰囲気の中で行われました。会場は久しぶりの再会を喜び笑顔で溢れていました。

実行委員長あいさつ

厩代地区 縣 雄斗



初めに、成人式の開催に向けてご尽力いただきました関係者の皆様には、式を無事に挙行できまことに深く感謝申し上げます。

さて、ここには19歳の人も20歳の人もいますが、既に20歳になった人は、何か環境に変化はありますか。まだ19歳の人は、20歳を迎えるにあたって何か思うことはありますか。いずれにせよ、人さまさまに何か感じるかがあるのではないのでしょうか。そう思えるのは、こうして20歳の節目を盛大に祝ってくださっているからだと思えます。

私事ですが、大学2年生に進級する際に、もっと時間を有効利用していれば良かったとか、色々なことに挑戦していれば良かったと後悔したと同時に、限りある機会を逃さないようにしようと思えました。例えば、大学のゼミ活動でチームリーダーを務めたり、さまざまな活動に参加したり、色々な場所を放したり、挑戦という意味では、今回委員長を務めたこともその一つです。

一方で、そのようにできたのは、家族や友達をはじめとした周りの方々の支えがあったからだと思います。皆さんの中には就職などで、もう独り立ちしたという人も多いかもしれませんが、それができたのも周りの支えがあったからだと思います。当たり前のことですが、今日存在を返して感謝してみましよう。そうすれば、これからはもっと支えになつてくれるはずですよ。

誓いの言葉

稲荷山地区 唐澤 杏菜



本日は私たちのために素晴らしい式典を催していただき誠にありがとうございます。温かい激励の言葉をいただきました。千曲市長をはじめ、ご来賓の方々、ご臨席を賜りました方々にお礼を申し上げます。

私たちは現在、学校に通い自己実現のために日々努力している人、社会人として仕事に勤しんでいる人、中には将来について悩んでいる人もいます。

まず、そんなさまざまな環境の中、集まりました新成人を代表し、誓いの言葉を申し上げます。私たちは「20歳」という節目を迎えましたが、まだまだ未熟であり、今日の日本社会は、不況が続く、変化も著しく、私たちにとても厳しい環境にあります。

最後になりましたが、私たちは正式に大人の仲間入りです。それに伴い、今まで以上に、自分の言動に責任を持ち、周りの人への感謝を忘れてはいけません。こうして成人を迎えることができたのも、大切に育ててくれた家族、いつも優しくときを厳しく指導してくださった先生方、いつも見守ってくださった地域の方々のおかげです。

これからは私たちが、人生の先輩の皆様の手助けを乞うことがありますが、手助けを乞うのではなく、自分自身でやるべきことがあるかと思っております。その時は自分自身でやるべきことを、千曲市の成人として、立派な大人になることを誓い、新成人の誓いの言葉とさせていただきます。

新成人の皆さんに贈る言葉

新成人の皆さんへ

八幡公民館長 宮崎 衛

成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。人生は学習の連続です。学校での学びはほんの一部でしかありません。

私事で恐縮ですが、ある会社に入社した新人の時の営業活動で、とあるユーザーに商品の販売条件を提示しました。その後、結論を聞きに訪れた。その後、結論を聞きに訪れた。その後、結論を聞きに訪れた。

「思いやりの心」です。「新約聖書」にある一節「すべての人にせられん」ということは、人にもまたそのことをせよ」からきています。言葉では簡単ですが、実行することは難しいことです。「思いやりの心」を持って人に接することができれば、心豊かに毎日を送ることができると思います。

未だにジタバタしている親父より

あります。それぞれの道で活躍されることを期待しています。

ご成人おめでとうございます

父母代表 真柳 隆一

成人おめでとう！はじめに、この子どもたちに温かく接してください。皆様に、父母を代表いたしまして感謝の念を表します。

月日が経つのは早いもので、もう20歳。怒って、笑って、泣いて、愛して、別れて。大きくなった新成人。振り返ればあんなに小さかった君たちが、もう立派な大人。鏡を見れば俺はじいじいなわけだ。

これからは大人の仲間入り。自分のことばかり考えずに相手の気持ちも考え、自分に正直に素直な心で人に接すること。相手だつて君を見ているさ。

卒業生へ贈る言葉

前へ

平成26年度 八幡小学校 6組組担任 浦田 誠一

成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。平成25年4月、皆さんと出会った日のことを昨日のことのように覚えていて、5年生になったばかりの皆さんは、目を輝かせていました。

それから皆さんと過ごした2年間は、共に学び、共に励んだとても貴重な日々でした。今でも忘れることのできなないかけがえのない思い出です。

「棚田での米作り」「学年での体育の時間」「児童会活動」「団体操」など。あれから8年。いつの間にか、身長は私を超え一段と心と体が大きく逞しく成長したと、皆さんのこれからの人生は、厳しく、めまぐるしく変化する社会環境の中で生きていくことになるでしょう。だからこそ常に自分を見失わず目標を持って生活していってほしいものだと思います。

これから、困難に出合うこともあるでしょう。その時は、自分を大切に、Visionを持ちWorkしていきましょう。前へ：進みましよう。人は伸びようとする力を持っているので、自分の可能性を信じて。

平成26年度 八幡小学校 6組組担任 小澤 香里

ご成人おめでとうございます。素直で、パワー溢れる皆さんと過ごした3年間は、私にとっても忘れられない思い出になっています。私にとって八幡小学校は初任校で、大学を出て初めて担任するクラスが皆さんでした。きらきらした瞳で見つめてくれる皆さんの姿は、10年経った今でも鮮明に覚えています。4年生での「七頭の湧き水探訪」や5年生での「鼓笛隊で参加した水作り」「鼓笛隊で参加した水作り」など、八幡地域の魅力を皆さんと一緒に知ることができ、八幡が大好きになりました。今でもたまに八幡を訪れて、激動の世の中を進んでいく新成人の皆さんにエールを送ります。

「この道を行けばどうなるものか、危ぶむなけれ。危ぶめば道無し。踏み出せば、その一歩が道となり、その一歩が道となる。迷わず行けよ。行けばわかるさ」自分を信じて、やりたいうことに挑戦してください。希望を胸に、未来を切り開こうとする皆さんを応援しています。

おめでとう

1月8日



副実行委員長あいさつ

上山田地区 宮原 悠登

本年度、成人式副実行委員長を務めさせていただきました宮原悠登です。本日はコロナ禍で制限が多い中、無事この成人式の晴れ舞台に立つことができるとも嬉しく思っています。市長をはじめ、ご臨席の皆様にご心より御礼申し上げます。

また、こうして無事に成人式を迎えることができたのは、今まで育ててくれた家族やお世話になった先生方、幼い頃から見守ってくださった地域の方々のおかげだと思っております。心から感謝を申し上げます。

20歳を迎え、私たちはすでに就職し働いている人や大学や専門学校で学業に励んでいる人、将来の夢を探している人など立場はさまざまですが、それぞれ自分の人生を楽しんでいこうと思えます。一人ひとりの進む道は違いますが、自分自身の行動に責任を持ち、社会の一員であるという自覚を持っていくことが大切だと思います。

私は、高校を卒業してから県内の専門学校に進学しました。現在は地域の健康寿命を伸ばし、地域の皆様が健康であり続けられるように日々学びが、将来の千曲市に貢献

できるように、注力していきたいと考えております。最後にになりますが、一緒に活動してきた成人式実行委員会のメンバー、また成人式開催に向けて支えてくださった皆様方に感謝をして、簡単ではありますが副実行委員長のあいさついたします。

誓いの言葉

戸倉地区 山田 兼大



本日は私たち新成人のために、このような盛大な式典を挙げていただきありがとうございます。心より御礼申し上げます。今日こうして成人式を迎えられたのは両親や家族、先生方、友人たち、また教え上げられた方々の支えによるものだと心から感謝しております。

20年前、私はここ千曲市で生まれました。自然に囲まれたこの土地で、さまざまな発見や経験をさせていただき、成長することができました。ときには優しく、ときには厳しく教えてくれた両親や先生方には本当に感謝しています。今までは当たりとときや、くじけそうになったときには、いつも近くに家族や友人など愛する人がそばにいてくれました。私はつくづく温かい人たちの中に守られ、育ってきたいのだと感じます。そんな日々が今では懐かしく思い出されます。



※掲載の写真撮影時のみマスクを外しています。

祝 成人

百花繚乱

1月8日



しおりの表紙



司会はまかせて!



式典



はい、チーズ!



仲間と一緒に華やかです



小川市長 お祝いの言葉



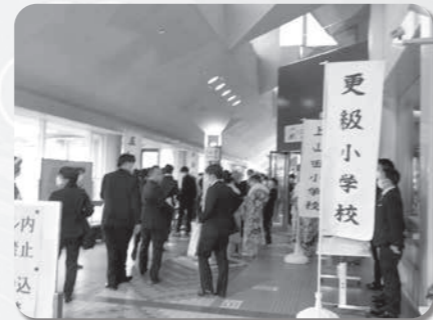
ビシッとキマってます



会場に到着



晴空の下 清々しい笑顔



実行委員が受付も担当しました



イケメン勢揃い がんばれ二十歳!



親子でパチリ



「会いたかった〜」

〜写真は館報編集委員が撮影しました〜



受付のお手伝いを
してもらったお2人です

開催日	令和5年1月8日(日)
副委員長	宮原 悠登(上山田小)
司 会	小松 太陽(埴生小)
司 会	新村 朱祐(埴生小)
しおり委員長	宮本 佳弥(戸倉小)
しおり副委員長	田玉 修也(戸倉小)
誓いの言葉	山田 兼大(五加小)
実行委員	大谷 颯人(更級小)
実行委員	西澤 七夕美(更級小)
実行委員	中村 光希(五加小)
実行委員	鎌田 由伸(上山田小)

【ひゃっかりょうらん】

様々な種類の花(優れた人物)が色とりどりに咲き乱れること。

1月7日



勢いある司会の一声
「盛り上がってますか〜?」



しおりの裏表紙



厳肅な雰囲気の式典会場



インタビューをされています



しおり作りがんばりました



なつかしい仲間と楽しく



思い出ビデオに笑い声



「かわいい〜」思わず声が出ます



晴れやかに友達と記念撮影



笑顔がステキな
二十歳



「久しぶり」受付にて

開催日	令和5年1月7日(土)
実行委員長	野崎 雄斗(東小)
司 会	野崎 匠(東小)
司 会	角田 正虎(屋代小)
誓いの言葉	唐澤 杏菜(治田小)
実行委員	神津 駿輝(屋代小)
実行委員	細尾 瑞季(治田小)
実行委員	伊藤 凌我(八幡小)
実行委員	緑川 成司(八幡小)

成人式実行委員



花束に感動です



晴れの日にご家族と一緒に



◆現代詩
 風向きが変わった
 火のこぼれてこない
 「さう助かった」
 そうしたら
 パチパチ
 音がした
 ふりむくと
 またふつてきた

◆川柳
 夏の朝すずしい風がおよいでる
 宿題がどんどんせまるお盆あけ

川柳

屋代小学校5年 中澤 うらら

海

白波がたつ

それはまるで
白いうさぎのようだ
はねては
いなくなる

◆現代詩
 キャンプファイヤーがはじまった
 あたりがどんどん明るくなって
 わくわくどきどき
 がーかし
 いきなり風がふいてきて
 わたしと弟に向かつて
 火のこぼれてこない
 「さう助かった」

短歌

中・高生の部

◆奨励賞
 反抗期が言うにはイヤイヤ期
 けれどどちらも成長期かな

佳作

君に「ごめん」そう言ったのは
つだつてまだなつかしい僕の初恋

第二十七回 更埴地区短詩型文学祭入賞作品

更埴公民館運営協議会主催の更埴地区短詩型文学祭表彰式が、去る12月17日(土)に坂城町中心市街地コミュニティセンターで開催されました。一般の部・小中高校生の部併せて2,617点の応募作品の中から、佳作以上に選ばれた千曲市関係の入賞作品を紹介いたします。なお、作品集は各公民館でご覧ください。

短歌

◆更埴地区短詩型文学祭大賞
 稲荷山公民館 日詰 百合子

終戦の貧しき少女ら集ひたり
春の宿よソノ夕日に酔ふ

◆更埴公民館運営協議会長賞
 稲荷山公民館 宮本 律子

腰低く阿波おどりする様に似て
両手は次々りんご花つむ

佳作

デデッポウ鳴き声聞こえ父母や
夫眠りし此処に我生ききさらん

俳句

あの日もこの田もみんな耕せり
日はお盆の棚飾りせん

上田公民館 宮西 秀貴

湧き水にトマト泳がしひと仕事

冬萌や夫の寛解一歩づつ

川柳

愛情をとり火で煮込む老夫婦

「とろ火で煮込む」がこの句の質を
高めています。くどくど説明しな
くても句の意味をしっかりと伝えて余
韻を持たせています。老夫婦の愛を
伝える句として最適な言葉でしょう。



表彰された皆さん

短歌

小学生の部

◆奨励賞
 八幡小学校6年 佐野 恵観理

宇宙人話してみるといがいとね
めつちやいやつ予想外

◆佳作
 未練あり種火は風を呼び起こし

◆現代詩
 空の白のノート
 少しだけ消した跡があるノート
 そこにはたたくさんの「おもい」が
 つまってる
 楽しい「おもい」も
 うれしい「おもい」も
 くるしい「おもい」も
 辛い「おもい」も
 そのノート1冊に
 つまっていた

佳作

朝早くぼくは見に行く、こうてい
に木にあつまるは夏の虫たち

◆現代詩
 紙で出来たノートでなくて心の中
 にあるノート、たたくさんのいろいろ
 な「おもい」を想像させて巧みな優
 れた詩になりました。みんないろい
 ろな「おもい」があり、空白の部分
 にながつかまるか期待します。

俳句

夏の空光る白球掴みとる

北風と競って走る有馬記念

川柳

雨の日はあじさいの花がよく映え
ますね。まるで雨を喜んでるよう
に咲いています。

◆現代詩
 最高級の奨励賞です。作者自ら認
 める反抗期。お母さんに言われま
 した「2歳児の魔のイヤイヤ期のよ
 うだ。そこで聡明な少年は考えた。
 どちらも我が成長期であるかなと。
 結句への連想が美に一首の輝きに
 なりました。

現代詩

空の白のノート

◆奨励賞
 戸倉上山田中学校1年 腰野 沙羽

東小学校6年 西村 侑真
 スイカナスもろこしきゅうりじい
 ちゃんの畑で生まれたかわい子
 弟ねらう先にはおかし

俳句

美しく咲いては散っていく桜の花
をみていると、時の流れを思います
ね。きつと楽しんで充実した中学生
活が待っているでしょう。

◆奨励賞
 東小学校6年 中澤 一心

打上花火の音は耳に聞こえるだけ
でなく全身に響きますね。その振動
からシンバルを打った時の感覚を思
い出したというのが、とても実感が
出ています。

佳作

夏の空ひっくりかえるジェット
コースター

海がんに光る貝がらがれ星

公民館からのお知らせ

公民館発表会		今年度の各公民館の発表会も、感染症対策をしての開催になります。	
名称	主催(会場)	展示発表	舞台発表
稲荷山公民館発表会	稲荷山公民館	開催予定 令和5年1月30日(月)~2月4日(出)	中止
八幡公民館発表会	八幡公民館	開催予定 令和5年3月1日(休)~4日(出) 午前9時~午後5時 (最終日のみ正午まで)	令和5年3月4日(出) ※今年度は舞台発表に替わり、 健康講座「健康と睡眠の知 恵袋講座」を開催します。
戸倉公民館学習活動 実績発表会	戸倉公民館 (戸倉創造館)	開催予定 令和5年3月4日(出)~5日(出)	開催予定 令和5年3月5日(出)

◆佳作
 戸倉上山田中学校1年 滝沢 透子

◆現代詩
 紙で出来たノートでなくて心の中
 にあるノート、たたくさんのいろい
 ろな「おもい」を想像させて巧みな優
 れた詩になりました。みんないろい
 ろな「おもい」があり、空白の部分
 にながつかまるか期待します。

◆奨励賞
 屋代、埴生、稲荷山、八幡公民館の
 減免申請について
 令和5年度の公民館使用料の減免申請
 を2月13日(月)から3月3日(金)まで受け付
 けます。詳細については各公民館にお問
 い合わせください。
 ※規定により減免の対象にならない場合
 があります。

※「館報ちくま」及び「もっと知りたいふるさと」は千曲市ホームページでご覧になれます。

もっと知りたいふるさと

90 歴史にみる鑄物師屋

善光寺が建てられた640年頃、人々は水田を作り生活を
するようになり、いくつかの
集落が集まり「郷」が作られ
るようになりました。鑄物師
屋地域も「船山郷」として早
くから開けたと言われていま
す。船山郷は千曲川の東岸、
旧更埴市屋代町の南方、旧戸
倉町の北方に位置していまし
た。船山郷の名は、五里ヶ峰
より有明山に至る山容が、郷
の間にぬっと突き出た舟形に
似ていることから付けられた
と言われています。

室町時代には船山郷に守護
所が置かれ、その位置は鑄物
師屋の屋敷地区（現在の船山
神社の近辺）という説があり
ます。その頃の権力者は、お



有明山に至る舟形に似た山並み

宮などに鐘楼や灯笼を寄進す
るために鑄物師（いもじ・いも
のし）を抱えており、その鑄
物師がここに来たので鑄物師
屋の名が付いたのではないか
と思われまます。しかし、鑄物
師屋地籍に守護所があったの
か不明であるため、鑄物師が
本場にいたのかも分かりませ
ん。「鑄物師屋には、船山郷
の中心である守護所があり、
鑄物師がいたので、この地名
がついた」と古き世に思いを
寄せて考えたいものです。

このように、地名の由来は
はっきりしませんが、検地が
行われた江戸時代には鑄物と
いう地名が残っています。ま
た、寛保2（1742）年の
地図には、鑄物師屋村と記載
されており昔の村の形を見る
ことができます。

江戸時代、鑄物師屋村は天
領として治められていまし
た。江戸から明治になり新た
な中央集権国家をつくる中
で、明治9（1876）年には、
鑄物師屋村・寂蔭村・打沢村・
小島村・桜堂村の5か村が合
併し、東船山村と称されまし
た。しかし、明治15（1882）
年には、この5か村が分離独
立し、元に戻ってしまいまし



令和2年に掘り出した
埴生村道路元標(左)と
宮坂喜昌頌徳の碑(右奥)

また、鑄物師屋出身の宮坂
喜昌（1805〜1890年）
（1919年設置）からも伺
われます。

た。それから7年後、明治22
（1889）年、町村制度実
施により再度5か村が合併さ
れ埴生村が誕生しました。明
治25（1892）年には現在
の埴生小学校の地籍（鑄物師
屋字清水）に村役場が置かれ、
57年間、埴生村の村政が行わ
れました。その後、昭和23
（1948）年に埴科郡埴生
町となり、杭瀬下村との合併、
五加村の中区の編入を経て、
昭和34（1959）年の更埴
市になるまでの12年間も、同
所で埴生町の町政が行われま
した。

このように鑄物師屋には役
場が置かれ、埴生村・埴生
町の中心地でした。このこ
とは現在の埴生小学校校門
横にある「埴生村道路元標」
（1919年設置）からも伺
われます。

は学問を極め、寺子屋を
開き、門弟は数百人にも
のびりました。彼の徳の
碑は埴生小学校の入り口
に立てられています。さ
らには、喜昌の子、東平
（1831〜1912年）
は初代埴生村の村長とし
て、十数年にわたり村政
を司りました。東平は父、
喜昌が書いた文集『麓の
塵』の中の『埴科の埴（土）
のいよいよ豊かにして桑
が繁茂し栄える』の願
いを受けて「埴生村」と名付
けたと言われています。

（同会は鑄物師屋地区
の伝統文化継承、新たな
素晴らしい成人式だった。
心に残る式だった。以前と成
人式のスタイルが大きく変わ
っている。成人式を迎える若
者たちが自分たちで企画し、
演出し、運営する。私が成人
式に出席したのはずっと昔の
ことになるが、当時住んでい
た市からの通知で、市民会館
で話を聞き、全体写真を撮っ
ただけの思い出の少ない式だ
った。

文化創造、地区の子どもたちの
健全育成を目的として活動して
いる）
参考資料 区誌『ふなやま』



鑄物師屋小学地図 区誌『ふなやま』より引用

編集後記

（八幡 K）

発行／千曲市公民館運営協議会 編集／千曲市公民館報編集委員会 電話026-272-0055 FAX026-272-7168 印刷／有限会社ナガト印刷